

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1 - 2 5	令和 6 年度第 5 回墨田区産業振興会議		
開催日時	令和 7 年 2 月 2 8 日 (金) 午後 4 時から午後 5 時まで			
開催場所	墨田区役所庁議室 (区役所 7 階)			
出席者	委員 6 人 (関 満博、長崎 利幸、川路 さとみ、清水 竜、平尾 伸子、郡司 剛英 産業観光部長) その他、産業振興課長・産業振興課職員が事務局として、経営支援課長・観光課長がオブザーバーとして参加した。			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0 人	
議題	1 開会 2 議題 (1) 令和 6 年度墨田区産業振興会議報告 (2) 報告書手交 (3) 区長コメント 3 意見交換 4 閉会			
配付資料	出席者名簿 資料 令和 5 年度・6 年度墨田区産業振興会議報告書 令和 5 年度・6 年度墨田区産業振興会議報告書概要版			
会議概要	1 開会 2 議題 (1) 事務局から「令和 5 年度・6 年度墨田区産業振興会議報告書」の概要について説明した。 (2) 関座長から山本区長に「令和 5 年度・6 年度墨田区産業振興会議報告書」を手交した。 (3) 区長からのコメント ・ SIC、STL など、産業集積のアップデートに向けた基盤ができたが、これをどう活用していくかが重要 ・ 区の施策に弱点があるとすれば、それに対するご意見もいただきたい 4 意見交換 (長崎委員) ・ この 2 年間を振り返って、各委員から一言いただきたい。 (川路委員) ・ 8 年前、すみだビジネスサポートセンター開設初年度に相談し、フロンティアすみだ塾入会、開業へとスムーズにつながった。 ・ この会議での議論を経て、自分の開業にいたる経緯 (区の施策支援) が腑に落ちた。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・呼び込む、繋げる、変わるは、自分が経験してきたことそのもの。 ・産業集積のアップデートの必要性について、経営者仲間に伝えていきたい。 <p>(清水委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すみだの産業について、会議を通じて勉強させてもらった。 ・共創という言葉が好き。皆で意見を出し合う中から新しいアイデアが生まれ得る地域だ と思うので、そのための仕組みをしっかりと作っていただければいい。 <p>(平尾委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後の観光は日々変わって来ており、区内のどこへ行っても外国人が歩いている。 ・来街者は SNS 等で興味のあるものを絞ってきている。ものづくりに興味がある人たちに、 すみだのものづくりの情報を適切に届けることが必要。 <p>(長崎委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区長がおっしゃるようにアップデートに向けた基盤はできたと言える。 ・方向性については OK。今後は何をどうやっていくかが大切。 ・スタートアップと区内企業の共創を広げることはマストであるとする。 <p>(関座長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40 年間にわたって関わっている産業振興会議であるが、初期はハードを作ることが目的 であった。 ・提言したことを区はすべてやった。特に中小企業センターのインパクトは大きかった。 似たような施設が海外にもできている ・20 年程前からソフト面での検討がメインになり苦戦した。 ・これ以降の産業振興会議の議論を踏まえて実施した施策で成功したのは、フロンティア すみだ塾と新ものづくり創出拠点である。 ・川路委員の創業の例はモデルケースと言える。 ・ものづくりの評価が変わってくるなかで、すみだテクネットラボは可能性ある。設置し ているロボットを活用し、地方の企業とつながれるといい。 <p>5 閉会</p>
--	---

所管課	・ 産業観光部産業振興課産業振興担当（内線：5 4 3 3）
-----	--------------------------------